

滋賀県立大学生協 とんがり学習会



[組織運営]

取り組み概要

日時：9月19日(月・祝)

場所：対面予定→台風によりオンライン実施

参加者数や組合員の反応：滋賀県立大学生協

学生委員会のメンバー43人、職員2名、ブ

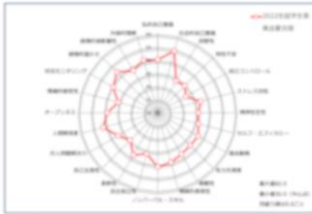
ロック2名の計47名が参加。

背景や概要：後期の活動や23年度の新学期活動、そして次年度の活動に向けて、コロナ禍以降行えていなかった部内学習会を行った。

今後に向けて組織全体で意思統一

POINT.1

SEQを活用して自分たちの分析を



この学習会には参加者全員がSEQを受講して参加しました。初めてSEQを受講した学生委員がほとんどで、自己分析を行ったのち、ペアを組んでお互いに強みや不得意な部分について知ることができていました。また、当日講師として来てくださった方から、組織としてどのような学生が多いのか、今後どのようなところを伸ばしていくとさらに良くなるのか、についてお話しいただきました。今回の結果を組織全体で意識しながら、活動に繋げていきたいですね！
 SEQについて気になる方は右の二次元コードをチェック！



POINT.2

自分たちの組織を職員とともに確認

この学習会を通して、改めて大学生協や生協学生委員会、共済について学びなおす時間がありました。各時間の提起は学生委員会の正副委員長や班長を中心に進めていきましたが、準備は職員も協力しながら行うことができていました。5月に開催された春のセミナーに参加できていなかった1回生もいましたが、学生委員会内で学習会を行うことで、全体で同じ知識を持ち、活動していく土台をつくることができました！

GIの役割

- ・組合員として大学生協の運営に積極的に関わる
 組合員の声・ニーズを伝え、学生目録の声を届ける(ひとごとカード等)
- ・大学生協のことを組合員に知らせる
 新入生向けの説明会(新入生保護者説明会) 共済ボードやショップ企画
 組合員の大学生生活を手助けしている！

POINT.3

後期や新学期での活動に向けて

22年を踏まえ、23年度の新学期方針！

- ・新入生と、そのサポートをする保護者、両方の不安に応えよう
- ・充実した4年間の大学生生活を振り返って情報提供しよう
- ・生協 とんがり、県大生の大学生活に一層詳しいアドバイザーになろう！
- そのため
 ・WEBも対面も活用して、たくさんの新入生と接点を持とう！
 ・下調べや調査活動をめっちゃがんばろう！

後期の活動について考える時間では、通常期の班に分かれて具体的に企画を考えていきました。1回生を中心に企画を詰めていくことで、次年度以降の活動も見据えた準備を行うことができていました。

23年度の新学期活動について考える時間では、職員と学生がともに22年度新学期を振り返り、23年度新学期で目指したいことについて考えていきました。12月に行われる推薦生企画に向けて、引退した3,4回生の先輩学生委員とともに進めていく体制も整っています。縦の繋がりをもって進められているのが素晴らしいですね！